

# 令和4年度事業報告

## 概 要

少子社会の進展と併せ、家庭や地域のつながりの希薄化による社会的孤立、子供の貧困と虐待、更にはウイルス感染症の拡大など、地域社会には様々な生活諸問題が生じています。

地域福祉の中核的役割を担う本会においては、地域福祉推進の指針となる第2期壬生町地域福祉計画と併せて策定した第2期壬生町地域福祉活動計画（令和元年度～5年度）の4年目にあたり、住民を始め関係機関及び関係団体と協力し、地域福祉に関する各種福祉事業や小地域福祉活動を積極的に展開しました。

特に本年度は、本会財源の根幹を担う会員会費事業である「『ふくし』パワーアッププロジェクト」の充実、福祉の対象者とされていた障がいを持つ方の作業が、次の福祉を生み出す「空き缶プレス事業」の機動力強化による循環型福祉事業を展開しました。

また未来を担う児童の福祉分野においては、放課後児童に遊びや生活の場を提供する「放課後児童クラブ」の運営環境を充実させ、仕事と子育ての両立及び児童の健全育成を支援しました。

障がい者関係事業としては、就労支援施設「むつみの森」及びこども発達支援センター「ドリームキッズ」の指定管理者（令和3年度～令和4年度）の切替年度にあたり、組織基盤や財政基盤の健全化を図り、住民から信頼される施設となるよう努めました。

以下、本年度の実施状況につきましては、次のとおりです。

## 会議・監査会

### 1 理事会

回	開催日	出席者数	付議内容
第1回	4月1日 決議の省略 (書面決議)	理事 14名 監事 2名	(1) 常務理事の選定について
第2回	6月15日	理事 11名 監事 2名	(1) 会長及び常務理事の業務執行状況について(報告) (2) 会長専決事項について(報告) (3) 令和3年度事業報告について (4) 令和3年度決算について (5) 評議員会の開催について (6) 評議員会選任・解任委員会の開催について (7) 評議員候補者の推薦について (8) 評議員選任・解任員の選任について
第3回	12月14日	理事 12名 監事 2名	(1) 会長専決事項について(報告) (2) 会長及び常務理事の業務執行状況について(報告) (3) 令和4年度資金収支補正予算(第1号)について (4) 評議員会の開催について (5) 評議員選任・解任委員会の開催について (6) 評議員の選任について (7) 評議員選任・解任委員の選任について (8) 第三者委員の選任について
第4回	2月21日	理事 12名 監事 2名	(1) 副会長の選定について (2) 令和4年度資金収支補正予算(第2号)について (3) 役員等倍書責任保険契約の締結について (4) 令和5年度事業計画について (5) 令和5年度資金収支予算について (6) 第3回評議員会の開催について (7) 令和5年度利益相反取引の承認について (8) 苦情解決に関する規程の一部改正について (9) 第三者委員の選任について

### 2 評議員会

回	開催日	出席者数	付議内容
第1回	6月30日	評議員 22名	(1) 令和3年度事業報告について (2) 令和3年度決算について (3) 理事及び監事の選任について
第2回	1月23日	評議員 23名	(1) 令和4年度資金収支補正予算(第1号)について (2) 理事の選任について
第3回	3月24日	評議員 21名	(1) 令和4年度資金収支補正予算(第2号)について (2) 令和5年度事業計画について (3) 令和5年度資金収支予算について

### 3 評議員選任・解任委員会

回	開催日	出席者数	付議内容
第1回	6月15日	委員 5名	(1) 評議員の選任について
第2回	12月14日	委員 4名	(1) 評議員の選任について

※「決議の省略」につきましては、社会福祉法及び本会定款に基づき、全理事の同意書及び全監事の承認書の同意書を徴しております。

### 4 監査会

回	開催日	出席者数	監査内容
第1回	5月24日	監事 2名	(1) 令和3年度事業報告について (2) 令和3年度決算について

第2回	10月31日	監事 2名	(1) 令和4年度上半期事業報告について (2) 令和4年度上半期決算について
-----	--------	-------	--

※税理士の会計指導を併せて実施した。

## 事業

### 1 法人運営

(1) 社会福祉協議会の会員募集の推進及び強化

①会員加入と会費の状況

会員区分	会費区分	会員数	会費額
普通会員	500円	9,506世帯	4,752,950円
特別会員	10,000円	120名	1,210,000円
賛助会員	5,000円	71名	355,000円
協力会員	2,000円	228名	456,000円
合計			6,773,950円

②『ふくし』パワーアッププロジェクト事業（福祉的財源循環事業）

社協会費の一部を活用し、就労支援施設「むつみの森」の利用者による自主生産品を社協会員（特別会員・賛助会員）に贈呈する。むつみの森利用者の収入並びに障がい福祉の向上、更に福祉的財源の循環による持続可能な取り組みを行う。

(2) 寄付金 27件 計 627,251円（設置募金箱11箇所含む）

(3) 福祉基金積立額 92,177,179円（令和5年3月31日現在）

(4) 高額寄付者表彰 被表彰者 1名

(5) 募金箱コンテスト

町内小学生を対象に自作募金箱を募集。応募作品の審査を行い、入賞作品を表彰する。

応募作品を町内公共施設、商店等に設置した。 応募作品 30点 設置済 25点

(6) 物品寄付 19件（タオル・衣類・お米等）

(7) 社協だよりを発行 年4回

クイズコーナーの設置 応募件数 29件

社協だよりの記事にクイズコーナーを設け、読者と一体感のある住民参加型の広報誌を作成する。クイズ正解者には就労支援施設「むつみの森」の自主生産品をプレゼントし、広報力の強化と障がい者福祉の向上を図る。

### 2 地域福祉活動事業

(1) 高齢者福祉活動

①介護保険外ホームヘルプ事業 月平均1名利用（通院介助）

②車いすの貸出し事業

所有台数	貸出延べ回数	貸出中の台数
23台	41回	3台

③お達者サロンの自主的な運営の支援（参加者同士の交流と健康体操等を実施した。）

サロン名	会場名	開講年度	延参加人数
睦地区お達者サロン	むつみの森	平成18年	0名
安塚地区お達者サロン	安塚地区コミュニティセンター	平成19年	537名
六美のぞみお達者サロン	六美町南部自治会公民館	平成21年	256名
下表町お達者サロン	下表町公民館	平成23年	290名
上田お達者サロン	上田公民館	平成24年	84名
あけぼのお達者サロン	あけぼの公民館	平成24年	221名
幸町1丁目お達者サロン	おもちゃのまち第4児童公園	平成24年	150名
原坪お達者サロン	原坪公民館	平成25年	107名
駅東サロンあやめ	駅東町公民館	平成25年	362名
東下台いきいきサロン	東下台公民館	平成25年	310名
城南お達者サロン	城南公民館	平成25年	296名
落合地区お達者サロン	落合公民館	平成25年	188名

至宝地区お達者サロン	至宝公民館	平成25年	351名
西高野すみれお達者サロン	西高野公民館	平成26年	144名
交流館ふれあいイキイキサロン	ふれあい交流館	平成26年	428名
上稲葉イキイキサロン	稲葉地区公民館	平成26年	214名
万町お達者サロン	万町公民館	平成26年	456名
至宝夢サロン	至宝公民館	平成26年	73名
緑1・2お達者サロン	おもちゃのまち幼児公園	平成27年	62名
北小林お達者ファミリー	北小林公民館	平成27年	250名
むつみの郷（六美北部）	むつみの郷（個人宅）	平成29年	190名
サロンあじさい（六美南部）	六美町南部自治会公民館	平成29年	263名
幸町2丁目ゆずり葉お達者サロン	おもちゃのまち第2児童公園	平成29年	215名
憩のなかま	中通町公民館	平成30年	192名
下馬木お達者サロン	下馬木地区公民館	令和元年	58名
下横町お達者サロン	下横町公民館	令和4年	208名
26ヶ所			5,905名

④認知症高齢者介護者サロン開催への協力 1回

⑤高齢者見守りネットワーク事業（受託事業）

・見守りチーム員のボランティア保険加入手続き 211名

(2) 障がい者福祉活動

①視覚障がい者等に対する朗読テープ「声の広報」活動（町発行の広報、社協だより等の朗読活動 対象2名）

(3) 生活困窮者等への援助事業

①被災世帯への支援活動 見舞金支給 3件（火災3件）

②行路病者等の援助 1件

③生活困窮者への現物支給

・アルファ米 7件（37食）

・フードサポーター登録事業（新規登録者11名、利用者27名）

④学校制服リサイクル事業

協力者18名（116点） 利用者24名（54点） 在庫数339点

⑤ハートフラワー事業（生理用品等の無料配付）一般町民 138件

小・中学校 68セット

⑥手と手を結ぶおむすび事業（児童家庭食糧支援）お米：5kg 130件

⑦春風応援事業（制服等購入支援事業）商品券29名へ配付 27名使用

(4) 団体支援事業（助成及び事務局）

①心身障害児者親の会事務局を担当し、運営を支援しています。

心身障害児者親の会は、会員相互の親睦と障がい者に対する理解と愛護思想の普及、関係団体との連絡調整を目的として、心身の障がい児者及び保護者と目的に賛同する者で組織されており、主に懇談会等を行っている。

会員数 27名

②ひまわり会（ひとり親家庭福祉会）事務局を担当し、運営費の一部助成を行う。

町在住のひとり親家庭及び寡婦家庭で組織され、母子及び父子並びに寡婦福祉法の理念に基づき会員相互の親睦と福祉の向上を目的に、研修及び講習会、高齢者施設訪問等を行っている。

会員数 42名 助成金 27,000円（共同募金配分金）

③身体障害者福祉会事務局を担当し、運営費の一部助成を行う。

壬生町身体障害者福祉会は、会員相互の親睦と身体障がい者の福祉の増進を目的にしており、主な活動は各種研修会、お茶の販売を行っている。

会員数 48名 助成金 45,000円（共同募金配分金）

④いきいき壬雷クラブ連合会及びシルバードライバークラブの事務局を支援し、運営費の一部助成を行う。

いきいき壬雷クラブ連合会は、高齢者の福祉の増進を目的に、町内26の単位老人ク

ラブで組織されており、グラウンド・ゴルフ大会、スポーツ大会、3種競技大会を主な事業に据え、研修会や講習会を行い、単位老人クラブの育成指導、また会員相互の親睦を図っている。また、加入促進事業として、壬生町TBG協会「町民ふれあい大会」、壬生町グラウンド・ゴルフ協会「交流大会」の後援を行っている。

会員数 923名 助成金 315,000円（共同募金配分金）

⑤栃木市聴覚障害者協会の運営費の一部助成を行う。 5,000円

(5) ボランティア活動の育成事業

①ボランティアコーディネーターの設置

②ボランティアセンター（ボランティアの登録、紹介活動）の運営

相談件数 465件

③ボランティア保険の加入促進と加入手続き事務を行う。

・加入団体数39団体、加入者数（延べ）2,243名、保険給付2件

④ボランティアグループ運営費の一部助成及び活動援助を行う。5団体 154,000円

⑤介護予防ボランティア等育成・支援事業（受託事業）

・お達者サロンリーダー研修

開催日	令和4年7月8日	令和5年1月17日
会場	壬生町保健福祉センター	
講師	栃木県レクリエーション協会	
内容	サロン事業等の協力者（リーダー）の育成	
参加人数	36名	27名

⑥ハッピーサンタクロース事業

・子育て世帯支援ボランティア研修

開催日	令和4年12月24日
会場	保健福祉センター（講義） みぶハイウェーパーク（実技） 壬生町おもちゃ博物館（実技） とちぎわんぱく公園（実技） 個人宅（実践・プレゼント配布）
内容	サンタクロース基本学の講義や実技を学び、応募があった個人宅へプレゼント配布を行う。
参加人数	100世帯（配布先）、24名（ボランティア）

(6) 福祉教育活動

①地域学校協働活動推進事業への協力

②ハートふるるdays(ボランティアスクール)の共催（日赤救急法等講習と同時開催）

開催日	令和4年11月3日
会場	総合運動場 体育館
講師	日赤栃木県支部職員
内容	AED講習、胸骨圧迫法
参加人数	67名（町内小学生とその保護者、中学生）

③本会職員による福祉出前講座

開催日	令和4年7月11日	令和4年11月28日	令和4年12月9日
会場	羽生田小学校	稲葉小学校	稲葉小学校
内容	災害ボランティアセンターについて説明。	社会福祉協議会及び福祉について説明。講師による手話の体験。	障害者スポーツ(ボッチャ)の体験
参加人数	羽生田小3・4・5年生 5名	稲葉小4年生 17名	稲葉小4年生 17名

④車いすバスケットボール交流事業（小学生対象）

車いす利用者の講話と車いすバスケットボールの体験を行う。

開催日	会場	参加者
9月30日	壬生東小	62名
11月8日	壬生北小	14名

11月11日	安塚小	75名
11月18日	壬生小	107名
11月18日	稲葉小	17名
11月29日	睦小	54名
計	6回	329名

(7) 心配ごと相談事業(受託事業)

- ①心配ごと常設相談 相談件数15件(家族関係5件、福祉関係4件、その他6件)
- ②特別相談(弁護士相談)を年12回実施した。相談件数51件(不動産関係6件、家庭関係14件、相続関係10件、金銭関係13件、その他8件)

### 3 共同募金関係事業

(1) 栃木県共同募金会壬生町支会の事務を担当

自治会等の協力を得て次のような実績を上げた。

目標額	5,256,000円
実績額	5,198,744円
(内訳)	
自治会(戸別募金)	4,175,125円
街頭募金	9,821円
法人募金(322法人)	763,158円
学校募金	128,940円
職域募金	30,792円
篤志募金	74,657円
その他の募金	16,226円
利息	25円

(2) 共同募金配分金事業の実施

- ①被災世帯に対する支援、見舞金支給(火災)3件
- ②地域福祉推進事業への助成(町内全ての小学校8校) 計490,000円
- ③壬生町民生委員・児童委員協議会への活動費の助成 100,000円
- ④下野保護区保護司会壬生町分区への活動費の助成 27,000円
- ⑤のぼり旗を使用した募金配分事業の広報活動(お達者サロン等)

### 4 資金貸付事業

生活困窮者の相談を受けて、セーフティネットとしての資金貸付による自立支援を図る。

- (1) 社会福祉金庫(生活一時資金として、緊急時に必要とする資金に加え、就学支援資金として就学に必要な物品を購入する資金の貸付を行う。 限度額50,000円)

相談件数	123件
新規貸付	27件
貸付合計額	810,000円
償還完了件数	7件
償還金額(過年度分を含む。)	513,000円

(2) 高額療養費

### 5 生活福祉資金貸付事業

生活福祉資金貸付事業(県社協扱い)

生活福祉資金の活用を図り、低所得者・離職者・心身障がい者・高齢者の自立更生を援助する。

相談件数126件 新規貸付件数70件 貸付合計額25,460,000円

【特例貸付】

特例=新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入の減少や失業等により生活に困窮した世帯が対象

貸付区分	件数	貸付額
①特例緊急小口資金	35件	6,500,000円
②特例総合支援資金	33件	17,550,000円
<b>※特例貸付合計件数</b>	<b>68件</b>	<b>24,050,000円</b>
⑤教育支援資金	2件	1,410,000円
貸付合計額	70件	25,460,000円

※総貸付件数 800件 総貸付額 332,000,000円 (令和2年3月～令和5年3月)

## 6 日常生活自立支援事業

- (1) 日常生活自立支援事業 (あすてらす・みぶ)  
(2) 生活支援員を置き、生活支援、金銭管理サービスの実施、専門員2名 生活支援員3名  
金銭管理サービス2名 (認知症高齢者等1名、知的障がい者1名)

支援件数	相談件数
37件	108件

- (3) 成年後見制度に関する情報収集

## 7 訪問介護事業 (高齢福祉サービス)

- (1) 訪問介護事業  
食事・オムツ交換等の身体介護及び調理・掃除等の生活支援サービスを行う。  
利用実績 (月平均)

区分		令和4年度			令和3年度		
延べ契約者数		17			16		
要介護区分		利用人数	回数	時間	利用人数	回数	時間
実利用者数	要介護1	6	36	35	1	9	9
	要介護2	3	15	9	2	55	50
	要介護3	2	16	12	1	8	8
	要介護4	2	108	72	1	85	68
	要介護5	2	64	60	1	69	58
	計	15	239	188	6	226	193

- (2) ホームヘルプ事業 (介護保険法外援助) 月平均 1名  
(3) 高齢者生活支援ホームヘルプ事業の実施 (受託事業) 契約者数5名  
延べ利用回数 139回  
(4) 介護予防・日常生活支援総合事業第一号事業  
利用実績 (月平均)

区分		令和4年度			令和3年度		
延べ契約者数		22			22		
要介護区分		利用人数	回数	時間	利用人数	回数	時間
実利用者数	要支援1	6	36	32	5	30	30
	要支援2	7	42	39	7	45	45
	計	13	78	71	12	75	75

## 8 居宅介護等事業 (障害福祉サービス)

- (1) 居宅介護等事業  
障がいを持つ方に対し、ホームヘルプサービスを行う。  
利用実績 (月平均)

区分		令和4年度			令和3年度		
延べ契約者数		11			11		
障がい区分		利用人数	回数	時間	利用人数	回数	時間
身体障がい者		2	33	57	4	98	122
知的障がい者		0	0	0	0	0	0

精神障がい者	4	47	65	6	33	42
重度障がい者	1	60	111	1	61	120
計	7	140	233	11	192	284

(2) 養育支援事業(受託事業) 契約者数 2名

(3) 移動支援事業(受託事業) 契約者数 4名 延べ利用回数 9回

## 9 相談支援事業

(1) 特定相談支援事業

①サービス等利用計画作成の実施

②モニタリングの実施

(2) 障害児相談支援事業

①障害児支援利用計画作成の実施

②モニタリングの実施

(3) 障がい者福祉に関する利用計画作成・相談件数

区 分	令和4年度	令和3年度
特定相談 利用計画作成数	94	48
モニタリング回数	117	62
障害児相談 利用計画作成数	129	123
モニタリング回数	167	117

## 10 就労支援施設「むつみの森」の管理経営（指定管理者）

(指定管理期間：令和3年度から令和4年度)

障がい者が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう一人一人の意思及び人格を尊重し、障がい者の立場に立った障害福祉サービスの提供を行う。

(1) 就労移行支援事業 利用者 1名 延べ利用者数 200名

個別支援計画に基づき、面接練習、履歴書記入練習、ハローワークへの同行、障害者職業センター同行、マナー講習会を行う。就労支援の実施、就労後の定着支援の実施、企業実習の実施向上のための訓練を行う。1人当たり平均月額工賃 18,018円

(2) 就労継続支援B型事業 利用者24名 延べ利用者数5,407名

個別支援計画に基づき、一人一人の生活ニーズに合わせて働く場を提供する。

1人当たり平均月額工賃 20,694円 県平均17,389円(令和3年度)

①企業から作業を請負い、室内作業を行う。

・PCR検査キット、ボトルシールはがし、いちごの箱折り等

②ペットボトル圧縮処理梱包作業(受託事業)・売却事業を行う。

・受託製造数 3,428個(ブロック) 売却数 1,260個(ブロック)

③空き缶プレス作業(法人本部からの受託事業)

・空き缶回収協力団体：獨協医科大学病院 他24団体・個人

④ジャム(苺、ブルーベリー、りんご、ゆず、「音羽シェフ監修の苺、りんご、なし」、トマト、なし、にんじん、ルバーブ、キウイ)、パンの缶詰(お殿様の兵糧)を製造、販売。

・販売数 ジャム：2,320個(お殿様のジャムを除く) パンの缶詰：404個

⑤お殿様のお米の製造・販売。

・販売数 1kg入：691袋 2kg入：143袋

⑥お殿様のジャム、Tono愛果ジャムの製造・販売。

・販売数 お殿様のジャム：800個 Tono愛果ジャム：1,472個

⑦「アマビエ」「とちまるくん」「ピースマーク」などのアイロンビーズの製作、販売。

・販売数 647個

⑧自主生産品の販路開拓による販売先

とちまるショップ(東京スカイツリー内)、栃木県観光物産協会(とちびより、おいでよ!とちぎ館)、イオン栃木店、永井百貨店(栃木市)、那須高原SA(上り線)、佐野SA(商談中)、めぶきファイナンシャルグループ株主優待カタログギフト、オンライン

ショップ（とちぎのいいものオンライン物産展、ECサイトとちぎもの）

## 11 日中一時支援事業

一時的に見守り等の支援を行う日中一時支援事業（受託事業）

日中における障がい児・者の活動の場の提供及び、監護する者がいない場合の一時的な見守り等の支援を行う。

・利用登録者数24名 延べ利用回数1,427回

## 12 こども発達支援センター「ドリームキッズ」の管理経営（指定管理者）

（指定管理期間：令和3年度から令和4年度）

### （1）児童発達支援事業

障がいのある未就学児に、日常生活における基本動作や集団生活への適応を図るため、障がいの程度に応じて適切な指導及び訓練を行う。

利用登録者数16名 延べ利用人数602名（無料体験利用者13名）

・専門療育指導（言語療法16名、作業療法10名、臨床心理士による就学相談4名  
保護者勉強会5名、ペアレント7名）※コロナ禍により専門療育等は縮小

### （2）放課後等デイサービス事業

就学している児童を対象に、放課後や長期休暇のデイサービスを行い、生活能力の向上のために必要な訓練を行い、社会との交流を図ることができるよう指導及び訓練を行う。

（開園時間を18時まで延長）

利用登録者数21名 延べ利用人数1,668名

・専門療育指導（言語療法12名、作業療法6名）

※栃木特別支援学校他、今年度より保護者のニーズに応じ、町内5ヶ所の小学校への迎えを開始。利用回数832回 延べ利用人数1,465名

### （3）保育所等訪問支援事業

集団生活を営む施設において、適応に困難がある利用者に対し、保護者からの要請に応じて利用者の在籍する保育所等を訪問し、専門的な支援及び訪問先施設の保育士等に対する支援を行う。（1回：定員1名、臨床心理士同伴）

・利用人数2名 ※コロナ禍により幼稚園、保育園が受け入れを見合わせた。

## 13 放課後児童健全育成事業

放課後や夏休みなどの長期休みに両親が共働きなどで、日中保護者が家庭にいない小学生児童を対象として、保護者に代わって保育する。

（1）児童が宿題・自習等の学習活動を自主的に行える環境を整え、必要な援助を行う。

（2）基本的な生活習慣についての援助、自立に向けた支援を行う。

①指定管理（実施場所）令和5年3月31日現在（延べ人数計 51,021名）

クラブ名	実施場所	正会員数	長期休暇会員数	延べ人数
ベリーキッズクラブ	壬生小学校校庭内	76名	6名	14,822名
睦っ子児童クラブ	睦小学校校庭内	50名	10名	8,780名
ひいらぎ第1児童クラブ	安塚小学校校庭内	45名	2名	9,066名
どんぐり児童クラブ	壬生東小学校校庭内	65名	8名	12,404名
北っ子児童クラブ	壬生北小学校校舎内	30名	1名	5,949名

②受託事業（実施場所）令和5年3月31日現在（延べ人数計 6,457名）

クラブ名	実施場所	正会員数	長期休暇会員数	延べ人数
ひいらぎ第2児童クラブ	子育て支援センターつばめ内	34名	4名	6,457名

（3）支援員が児童により良い支援が出来るよう、スキルアップ及び資質向上のための研修に参加する。

### ①内部研修

主任・副主任会議 2回

支援員全体会議 1回 42名

### ②外部研修

支援員認定資格研修	2名
指導者研修	48名
資質向上研修	40名

## 14 生活支援体制整備事業（公益事業）

高齢者が自分の住み慣れた地域で自分らしい生活を最期まで送ることができる地域共生社会の実現を目指す。地域支え合い推進員を配置し、情報収集、担い手育成・活動サポート、行政・専門職との連携などを行う。（受託事業）

- (1) 地域資源の状況把握、不足するサービス・支援の創出
- (2) ボランティア等担い手育成・活動サポート

### ①地域ささえあいサポーター養成講座の実施

開催日 令和4年11月1日、11月15日、12月6日（全3回）

開催場所 生涯学習館 講堂

内容 介護保険制度・認知症サポーター養成講座、ささえあう地域づくりを進めるために（人間関係をつくる、価値交流学习）、ボディメカニクス、福祉用具

参加人数 延べ参加者数 71名

### ②つなぐ輪みぶ（生活支援有償ボランティア）交流会の実施

開催日 令和4年6月14日、令和5年3月1日

開催場所 生涯学習館 講堂

参加人数 延べ参加者数 46名

- (3) 行政・専門職との連携

### ①包括定例会の参加 6回

### ②地域包括ケアシステム会議（第1層協議体）の参加 1回（書面決議）

## 15 収益を目的とする事業の実施

- (1) 自主財源を確保し、社会福祉事業を推進する目的で、次の収益事業を行う。

### ①黒川の里ふれあいプール売店の運営委託

※新型コロナウイルス感染対策として、プール運営中止のため委託せず。

### ②印紙売りさばき、郵便切手販売を行う。印紙 役場：4件 関係団体等：5件

郵便切手 役場：14件 関係団体等：29件

### ③空き缶プレス事業 収益額 2,423,874円

・収集実績 アルミ：9,846kg スチール：5,142kg その他：4,355kg

### ④ペットボトルキャップ売却事業 収益額 127,190円

・収集実績 5,530kg

### ⑤有料広告事業 社協だより掲載件数 9件

本会が発行する印刷物等に、町内企業等の紹介やイベントの情報を広告として掲載することで住民サービスの向上及び本会の自主財源の確保を図る。

## 16 日本赤十字社への協力

- (1) 日本赤十字社栃木県支部壬生町分区の事務を担当（町からの事務委任）

- (2) 日本赤十字社募金運動（6月）

自治会等の協力を得て次のような実績を上げた。

目標額	4,245,000円
実績額	4,014,816円
(内訳)自治会（戸別募金）	4,014,816円

- (3) 日本赤十字社交付金事業の実施

### ①青少年赤十字活動を含む福祉活動への助成 135,000円（中学校2校、高校1校）

### ②被災世帯に対する支援（災害時の機材、消耗品の備蓄）

令和4年11月の建物火災で毛布2枚、布団2組、救急セットを支給

令和5年1月の建物火災で毛布3枚、布団3組、救急セットを支給

### ③赤十字救急法等講習会の開催

開催日	令和4年9月11日	令和4年11月3日	令和5年1月25日
会場	六美南部自治会	総合運動場 体育館	壬生町子育て支援センターつばめ
講師	日赤栃木県支部職員	日赤栃木県支部職員	日赤栃木県支部職員
内容	災害への備え、炊き出し体験	救急法短期講習	幼児安全法短期講習
参加人数	21名	小17名+中33名+親17名 計67名(親子教室)	14名

(4) 壬生町赤十字奉仕団の活動援助を行う。 団員45名

(5) 災害義援金等の受入・協力

①災害義援金、救援金の受入

・ウクライナ人道危機救援金 601件 807,799円

※総件数 642件 総額 1,123,608円

・2023年トルコ・シリア地震救援金 10件 249,262円

(6) 令和4年度日本赤十字社壬生町分区事務費・事業費決算額

<b>収入金額</b>	<b>1,320,410円</b>
事務費交付金収入	400,481円
事業費交付金収入	400,481円
雑収入	10,024円
災害等資金積立金取崩収入	309,424円
一時繰入金(募金会計)	200,000円
<b>支出金額</b>	<b>1,020,689円</b>
事務費交付金	60,715円
通信運搬費(事務)	37,219円
委託費	23,496円
事業費交付金	759,974円
災害救護費	324,669円
青少年赤十字費	151,830円
広報活動費	132,890円
事務的経費(事業)	150,585円
繰出金(募金会計)	200,000円
<b>差引金額</b>	<b>299,721円</b>